



竹村 仁司 議員

## 地域ケアと防災の取り組みを

### 質問

東日本大震災から多くの事を学び、教訓としていかになくてはならない。地域ケアに基づいた支え合う社会の確立が必要である。まず、本市における地域人口の推移、高齢者の見通しは。また、認知症高齢者数・高齢者単独あるいは夫婦のみ世帯数の推移、要介護支援認定者の推移、さらに医療機関の療養病床についてたずねる。

### 福祉部長

高齢者数の見通しは、65歳以上人口で、平成23年度は

1万5千994名。平成26年度の推計値で1万7千943名、1千949名の増。要介護認定者は、2千2名が2千405名になるとの見込み。独居及び高齢者数の推移は、平成18年の一人暮らし高齢者は965名、平成22年には1千345名。高齢者世帯については、平成18年に1千372名。平成22年には、1千965名である。認知症高齢者については、認知症自立度の結果から561名とつかんでいる。

### 質問

市として自主防災会の取り

組み・見直しなど、どのような考えか。

### 総務部長

日本の文化である互助といった面からも、この地域における自主防災会の役割は大変重要ととらえ、100%設立に向け取り組んでいる。

### 質問

地域ケアの問題として、医療機関・介護保険施設のベッド数が、当然高齢者・要介護者の増加に対して足りなくなる。要介護者の中でも、軽度中度の在宅医療・在宅介護サービスを整備・充実が求められるが。

### 福祉部長

平成20年から災害時要介護者対策ワーキンググループを持つて、現在活動を進めている。在宅要介護者を取り巻く環境の悪化や、身体機能の低下なども懸念されるので、民生委員、ホームヘルパーなどが中心となって、体制を整えていかなければならない。

## 観光協会の進行状況は

### 質問

本年設立予定の観光協会について、市の設立準備委員会での内容、現在までの会員の募集状況は。

日現在で、法人88会員、個人110会員、口数で217口になる。

### 質問

市の観光協会に対する目標・目的は。

### 経済建設部長

これまで、設立準備委員会で観光協会の会員の募集時期、申し込み方法・会費の徴収方法など、設立に向けて具体的な作業の協議を行っている。会員の募集状況は6月10

### 経済建設部長

観光は産業の柱と位置付けられ、新たな観光資源の発掘・開発など、当市の発展につながる観光振興を考えている。



立田「道の駅」縁結びの松